

乃木坂スクール・支援機器講座の特徴

視点は介護現場にどう生かすか。

今や、介護ロボット、ICT の活用が国家戦略となっています。

開発の進化は著しいですが、展示会や展示会に併設する講演では、個々の機器や、各論的なものが多く、これからどのように活用していくのか、介護現場の動向や、市場を知りたい人には「全体像」がわかりません。

本講座は 13 回の組み立てで、初回は福祉用具の全体動向、2 回目は介護ロボットの全体像について、それぞれ話を聞き、以後各論に移る仕掛けです。介護ロボットといってもさまざまですが、先進的な機器の開発が介護現場でどのように生かせるのか、そのような視点から語って頂きます。特別養護老人ホーム善光会は、施設での活用のみならず開発に着手しています。開発や流通の大手(パナソニック、大和ハウス、パラマウントベッド、川村義肢)の深化はめざましいものがあります。利用者と事業者の間に立つケアマネジャー(日本介護支援専門員協会)、若手起業家(オリィ研究所)などのお話もお聞きします。さらに台湾・韓国の開発や普及の動向まで網羅する仕組みとなっています。制度改編については、専門職団体の立場からの話は「今後」を考える示唆になると思います。

遠方の人のため、また毎週 18 時に来ることが難しい人のためには。WEB(パソコンでの視聴)受講有り。オフィス、自宅でのパソコンで講義後 1 週間は、何度でも繰り返し見ることができるのがメリットです。

講座名「2025 年に向けた支援機器の活用」

コーディネーター 中村 秀一/東島 弘子